

TEMM20以降の環境協力に係る日中韓三カ国共同行動計画（2015-2019）の履行進捗

PA	Sub-PA	Current Implementation Status
1. 大気環境改善	A. 大気汚染	大気汚染に関する日中韓三カ国政策対話（TPDAP）：第6回TPADPが、2019年2月に日本・東京にて開催された。 「大気政策レポート：協力の進捗と成果」が、本TEMM21期間中に発行される予定である。 日中韓大気汚染物質長距離越境移動研究プロジェクト（LTP）：「長距離越境大気汚染のサマリーレポート」がTEMM21に先立って発行される予定である。 ワーキンググループⅠ（対策に関する科学的な研究）と、ワーキンググループⅡ（大気のモニタリング技術及び予測手法）の両会議は、第6回TPDAPと連続で開催された。
	B. 黄砂	黄砂局長会合（DSS DGM）：第14回DSS DGMは、2019年10月に日本・北九州にて開催された。 黄砂運営委員会（DSS SCM）：第13回DSS SCMIは、第14回DSS DGMに引き続いて開催された。 黄砂共同研究ワーキンググループⅠ/Ⅱ及び関連会合： ワーキンググループⅠの第11回会合は、2018年11月に日本・東京にて開催された。ワーキンググループⅠの第12回会合は、2019年9月に韓国・釜山にて開催された。 ワーキンググループⅡの第11回会合は、2018年12月に韓国・ソウルにて開催された。 ワーキンググループⅡの共同研究は、2019年7月に中国・フルンボイルにて開催された。 ワーキンググループⅠとⅡの間の日中韓三カ国合同ワークショップ：－
2. 生物多様性	A. 生物多様性の保全	日中韓生物多様性政策対話（TPDBD）：第6回TPDBDは、2019年4月に中国・昆明にて開催された。 アジア太平洋生物多様性観察ネットワーク（AP-BON）、東アジア・東南アジア生物多様性情報イニシアチブ（ESABII）及びバイオブリッジイニシアチブ（BBI）の取組に関する日中韓三カ国協力： － AP-BONワークショップは、2019年6月にマレーシア・クアラルンプールにて開催された。 － AP-BON分科会が、GEOSSアジア太平洋シンポジウムと同時に、2019年10月に日本・京都で開催された。 － ESABIIの下で、CITES掲載種分類学能力構築プログラムが、2019年2月にマレーシアで開催された。 情報交換、グッドプラクティス及び知見の共有：日中韓三カ国は、第6回TPDBDの会期中に、ポスト2020生物多様性枠組の構築、及び、ヒアリを含む侵略的外来種対策についての情報及び経験の交換を行った。
	B. 遺伝資源へのアクセスと利益配分（ABS）	名古屋議定書実施のための情報共有：日中韓三カ国は第6回TPDBDの会期中に、名古屋議定書の実施進捗に係る情報共有を行い、既存の共同研究の改革を行うことを決定した。
3. 化学物質管理と環境に係る緊急時対応	A. 化学物質管理	化学物質管理に関する政策ダイアログ（TPDCM）：第13回TPDCMは2019年10月に日本・福岡にて開催された。 化学物質管理に関する三カ国専門家セミナー（TESCM）：第13回TESCMは第13回TPDCMと連続で開催された。
	B. 環境に係る緊急時対応	環境災害のリスク評価の進捗は、2018年10月に韓国・釜山にて開催された第15回TPMIにて報告された。
4. 資源循環利用／3R／電子廃棄物の越境移動	A. 資源循環利用／3R	3R及び電気電子機器廃棄物の越境移動に関する三カ国セミナー：第12回循環型社会・循環経済・3R・電気電子機器廃棄物（E-waste）の越境移動に関するセミナーは2018年12月に韓国・ソウルで開催され、プラスチックごみ対策を含む3R政策の最新動向が紹介された。
	B. 電気電子機器廃棄物の越境移動	電気電子機器廃棄物の越境移動に関する三カ国間の情報共有：日中韓三カ国は電気電子機器廃棄物（E-waste）の越境移動に関するニュースレターの様式案作成に係る意見交換を行った。 日中韓三カ国間の電気電子機器廃棄物の越境移動のフローに関する情報共有：日中韓三カ国の研究機関は、2018年12月に韓国・ソウルにて開催された、第12回循環型社会・循環経済・3R・電気電子機器廃棄物（E-waste）の越境移動に関するセミナー（2018年12月、韓国・ソウル）の会期中に、電気電子機器廃棄物（E-waste）の越境移動に係る情報交換を行った。
5. 気候変動対応		気候変動緩和技術に係る研究や実証活動に関する知見の共有； 制御技術に関する情報共有； 気候変動適応に係る知見の共有； 低炭素で環境にやさしい都市づくりに関する研究： － 脱炭素都市構築に向けた日中韓共同研究が2018年に開始された。 － 共同研究ワークショップ（WS）：第1回ワークショップは2018年10月に中国・北京にて、第2回ワークショップは2019年7月から8月にかけて日本・横浜にて開催された。 － 技術会合（TM）：第1回技術会合は、2019年5月に中国・北京にて開催された。 － TEMM21と連続で、共同研究に係るフォーラムを開催した。 適応に関するグローバルセンター中国オフィスの開設式は、2019年6月に中国・北京にて開催された。

PA	Sub-PA	Current Implementation Status
6. 水及び海洋環境の保全	A. 水環境	水環境管理に係る日中韓三カ国間の情報共有：日中韓三カ国はTEMM会期中に、国内の水環境管理に係る政策を紹介した。 地下水技術の協力：日中韓三カ国はさらなる協力の模索に向け、地下水技術に関するコミュニケーション強化の必要性と意欲を確認した。
	B. 海洋環境	海洋ごみに関する三カ国ワークショップ（NOWPAP）の枠組み下における協力： - 第5回TEMM-NOWPAP合同ワークショップ及び海洋ごみ会合が、2019年に大連市にて開催された。本ワークショップでは海洋ごみ及び廃棄物管理に焦点が当てられた。 - NOWPAP特別プロジェクト第2回専門家会合が、第5回TEMM-NOWPAP合同ワークショップと連続開催された。 TEMM20以降三カ国は、「大阪ブルーオーシャンビジョン」及び「海洋プラスチックごみに関する行動のためのG20実施枠組」について議論し、確約し、また、ASEAN+3協力アクションイニシアチブに基づく海洋プラスチックごみ対策を共有した。
7. 環境教育、人々の意識向上、企業の社会的責任（CSR）	A. 環境教育、人々の意識向上	日中韓環境教育ネットワーク（TEEN）：第20回TEENシンポジウム/ワークショップが、2019年10に中国・杭州市にて開催された。 ユースフォーラム：TEMMユースフォーラムが、日本・北九州市にてTEMM21と同時開催された。 合同環境研修：第18回日中韓三カ国合同環境研修が、2018年11月に中国・衡水市にて開催される。 一般の人々を対象とした意識向上プロジェクト：第2回三カ国教員交換プログラムが、2019年8月にTCS援助のもと、日本・東京にて開催された。
	B. 企業の社会的責任（CSR）	ビジネスセクターのための環境CSRに関する協力：日中韓三カ国が、TREBの会期中に、CSRについて議論した。

PA	Sub-PA	Current Implementation Status
8. 地方環境管理		<p>地方環境管理に関する三カ国政策対話（TREP）： - 第1回地方環境管理に関する三カ国政策対話（TREP）が、2017年3月に中国にて開催された。 - 第2回TREPが、2017年12月に日本・東京で開催された。</p> <p>地方環境管理に関する情報交換：地方環境管理における政策を相互に進捗させるため、地方における環境分野の主要関心事項についての十分に情報交換及び議論を行ってきた。</p>
9. グリーン経済への移行	A. グリーン経済	<p>グリーン開発／グリーン経済に関する情報交換：日中韓三カ国は第12回循環型社会・循環経済・3R・電気電子機器廃棄物（E-waste）の越境移動に関するセミナー会期中に、情報交換を行った。</p>
	B. 環境・グリーン産業	<p>三カ国環境ビジネス円卓会議（TREB）：第5回TREBが、TEMM21会期中に日本・北九州市にて開催される予定である。</p> <p>三カ国汚染防止・抑制技術に関する情報交換：第2回日中韓三カ国環境産業技術に関する共同出展と2018年三カ国環境産業・技術フォーラムが、2018年6月に中国・北京にて開催された。</p> <p>環境・グリーン産業に係る評価、認定及び検証に関する情報交換：日中韓環境ラベルの相互認証に係る実務者会合が、2019年3月に日本・東京にて開催された。</p> <p>環境汚染防止・抑制技術のための三カ国協力ネットワーク：中国により情報プラットフォームが近日中に構築される予定である。</p>
	C. グリーン・サプライチェーン	<p>北東アジア地域のグリーン・サプライチェーンに関する協力：APECグリーン・サプライチェーンネットワークの枠組みの下、日中韓三カ国の協力を継続中である。</p>